

カラー画像データの彫刻方法

RSD-SUNMAX-QS を使用して、カラー画像を彫刻するためのデータ作成方法を説明します。

データ作成には Adobe Photoshop を使用します。

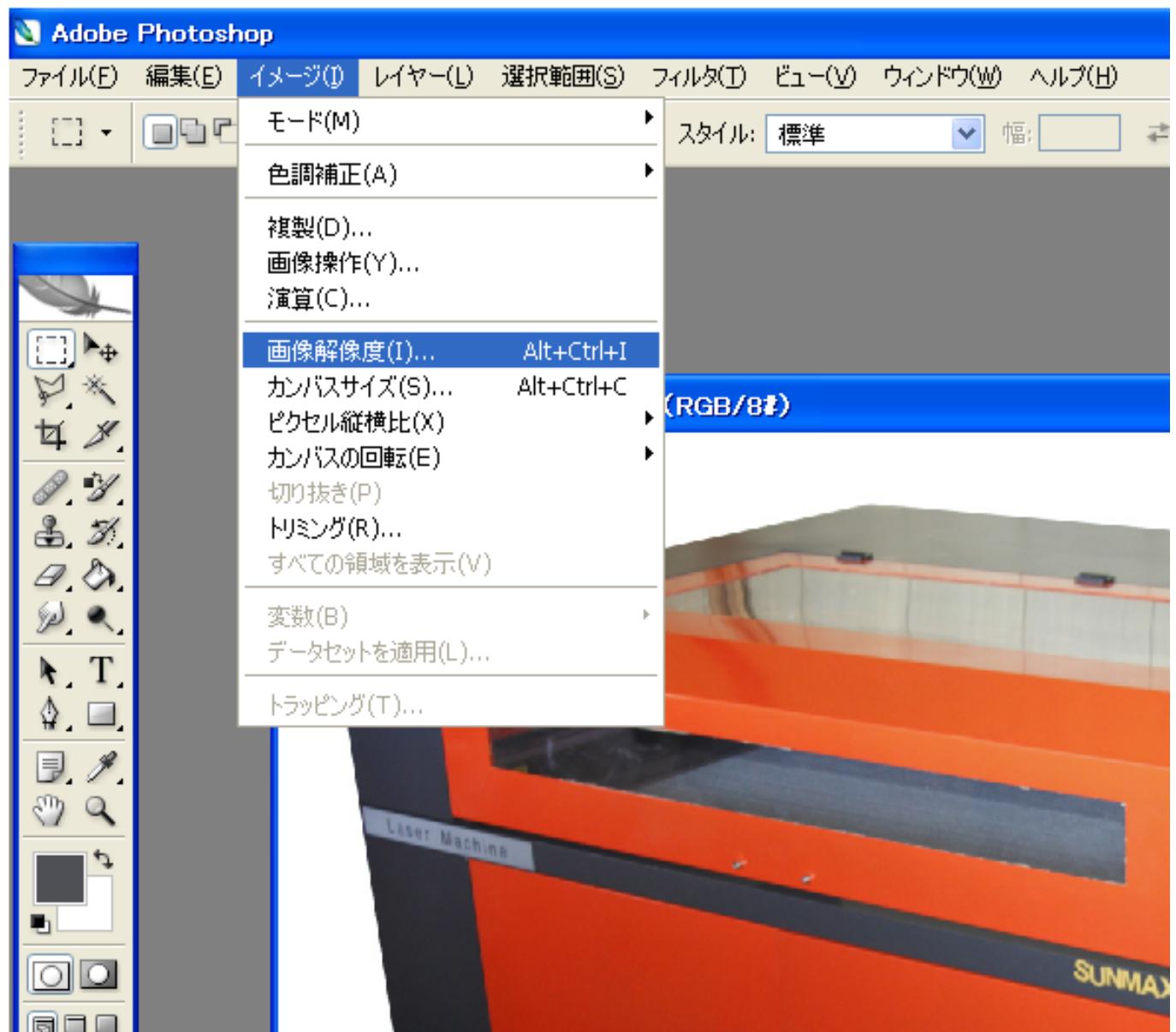
本資料では PhotoshopCS2 を使います。類似機能を持った他のソフトウェアでも可能です。

※ データの作成および彫刻設定において、素材、要求加工品質、データ内容、レーザー加工機機種によって、試行により適切な設定値を求める必要があります。

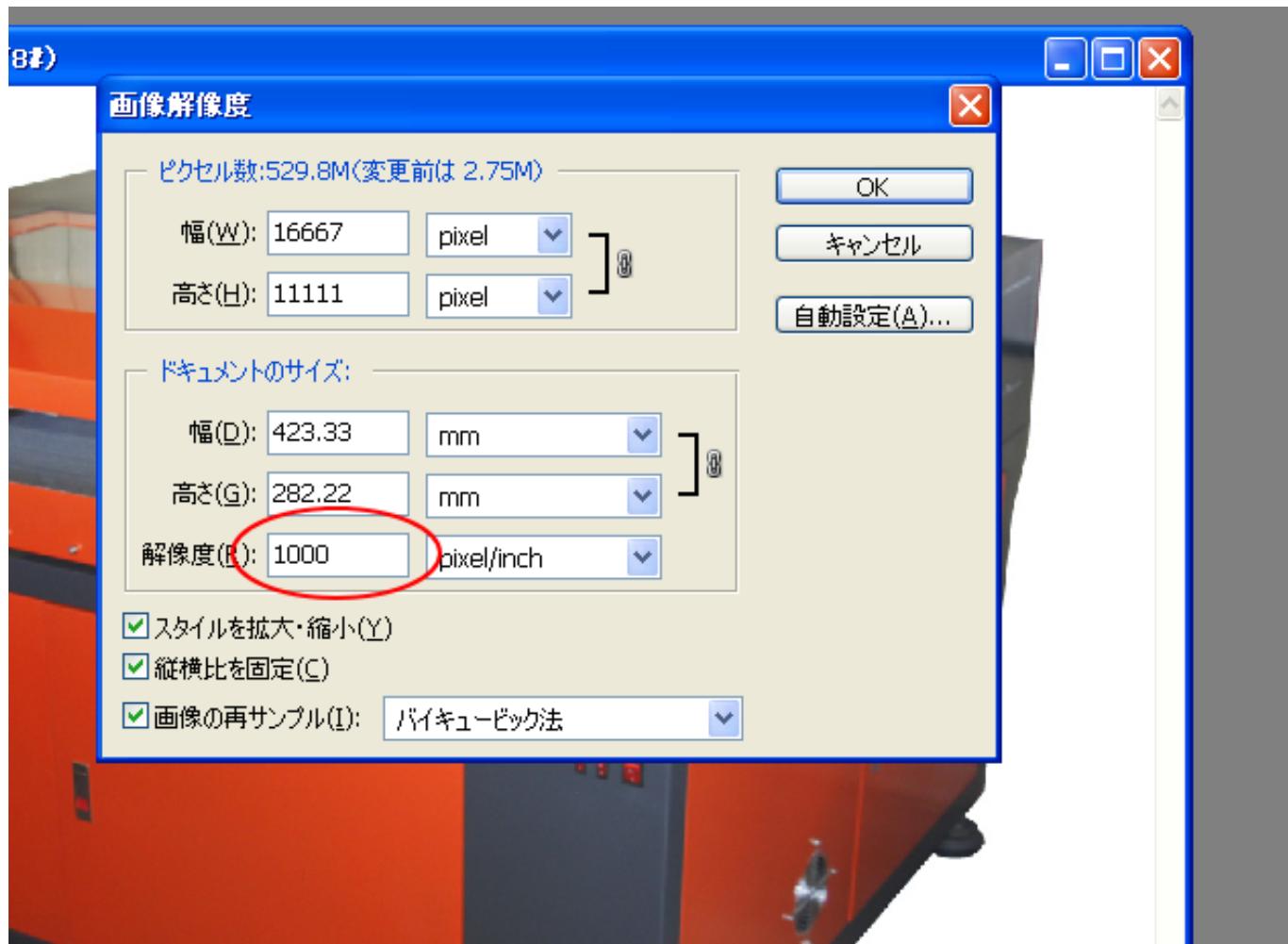
① Adobe Photoshop で画像ファイルを開きます。



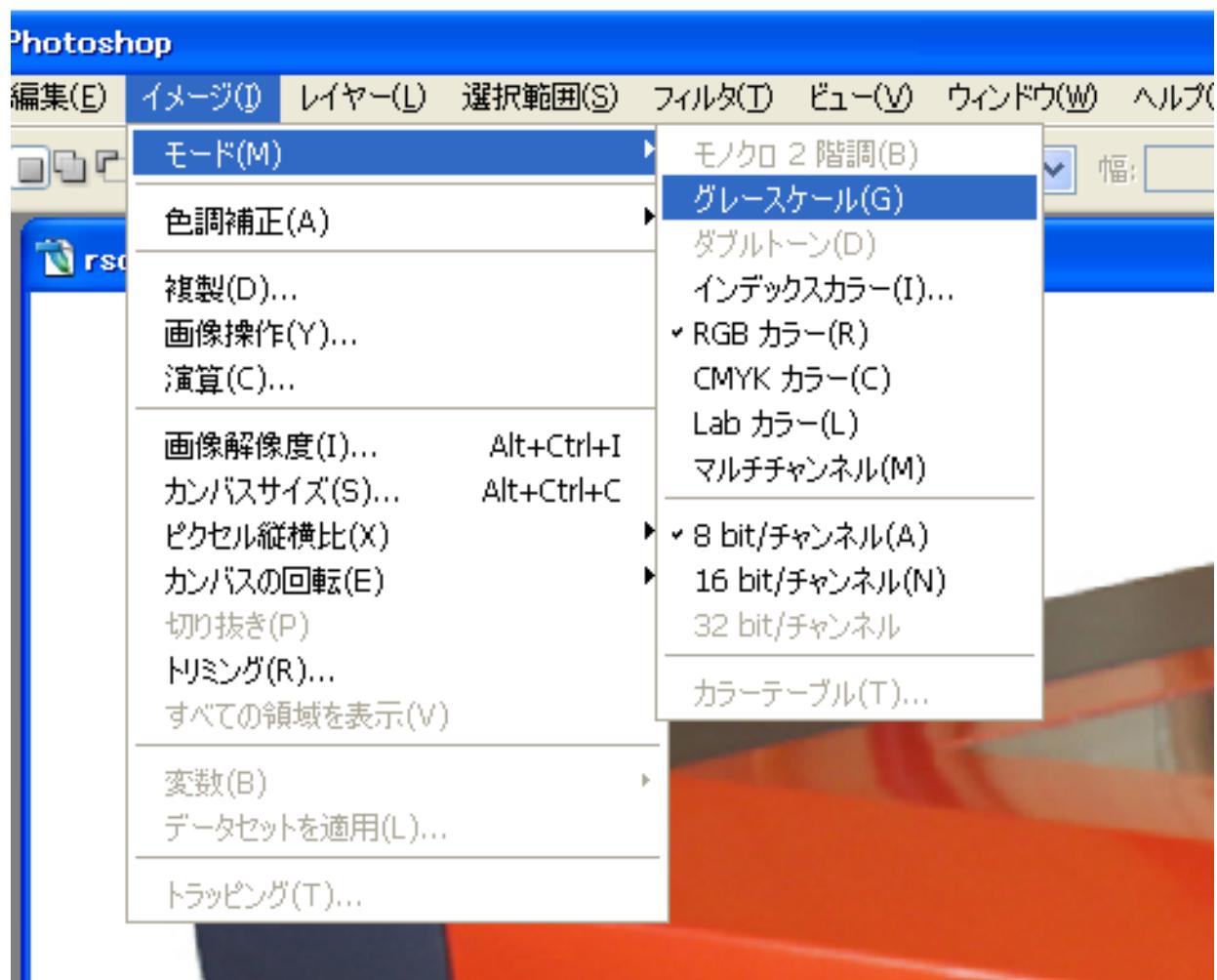
② メニューの「イメージ」を開いて、「画像解像度」をクリックします。



③ 画像解像度ダイアログが表示されたら「解像度」を 1000 に設定して、OK ボタンをクリックします。



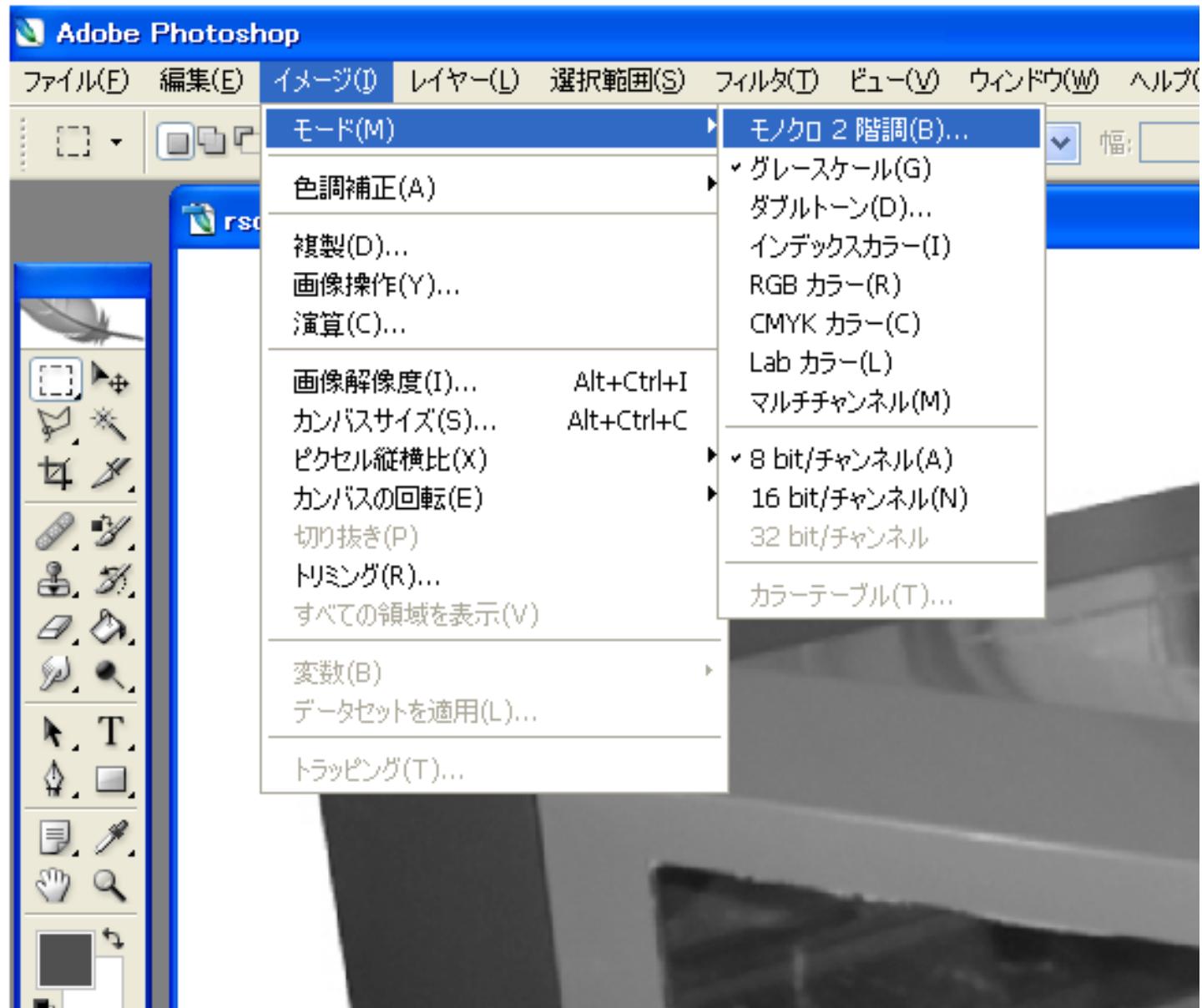
④ メニューの「イメージ」を開いて、「モード」にマウスカーソルを当てるとサブメニューが開くので、「グレースケール」をクリックして下さい。



画像はモノクロ階調画像に変わります。



④ メニューの「イメージ」を開いて、「モード」にマウスカーソルを当てるとサブメニューが開くので、「モノクロ2階調」をクリックして下さい。



⑤ 設定ダイアログが表示されるので、下図のように設定して下さい。

出力 1000 pixel/inch
使用 ハーフトーンスクリーン



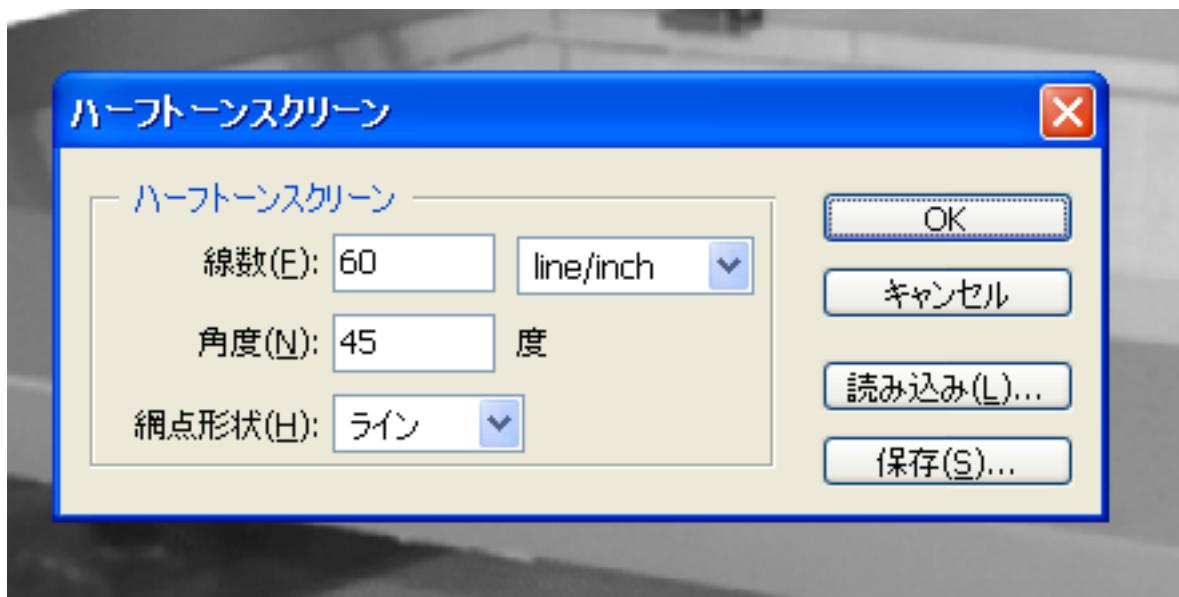
設定したら OK をクリックします。

⑥ ハーフトーンスクリーン ダイアログが表示されるので設定して下さい。

線数 50~90 (加工素材や画像内容によって、適切な値を設定して下さい。設定出しには試行が必要です)

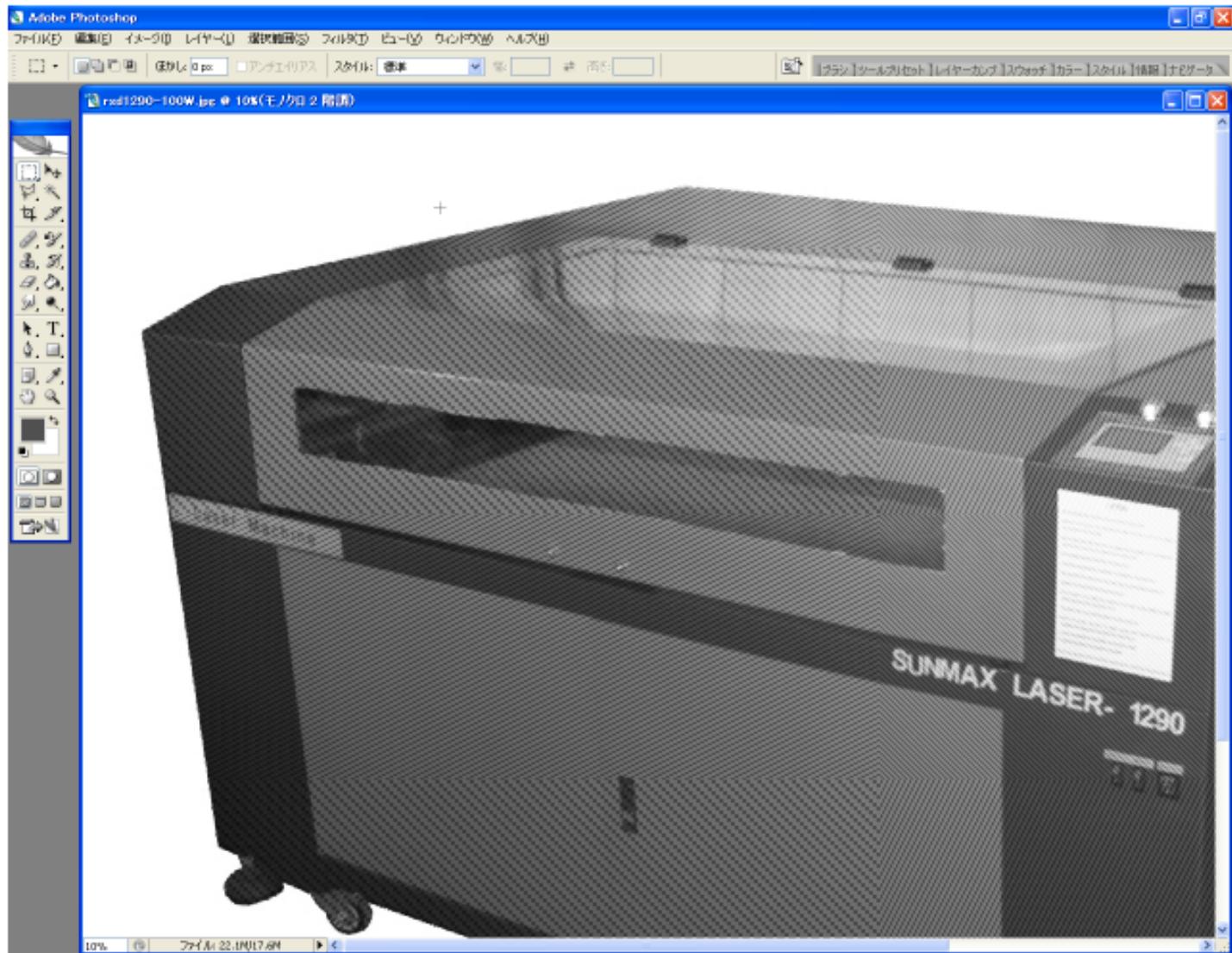
角度 45 度

網点形状 ライン



※ 上記設定は目安です。試行して仕上がりを見ながら設定を変える必要があります。

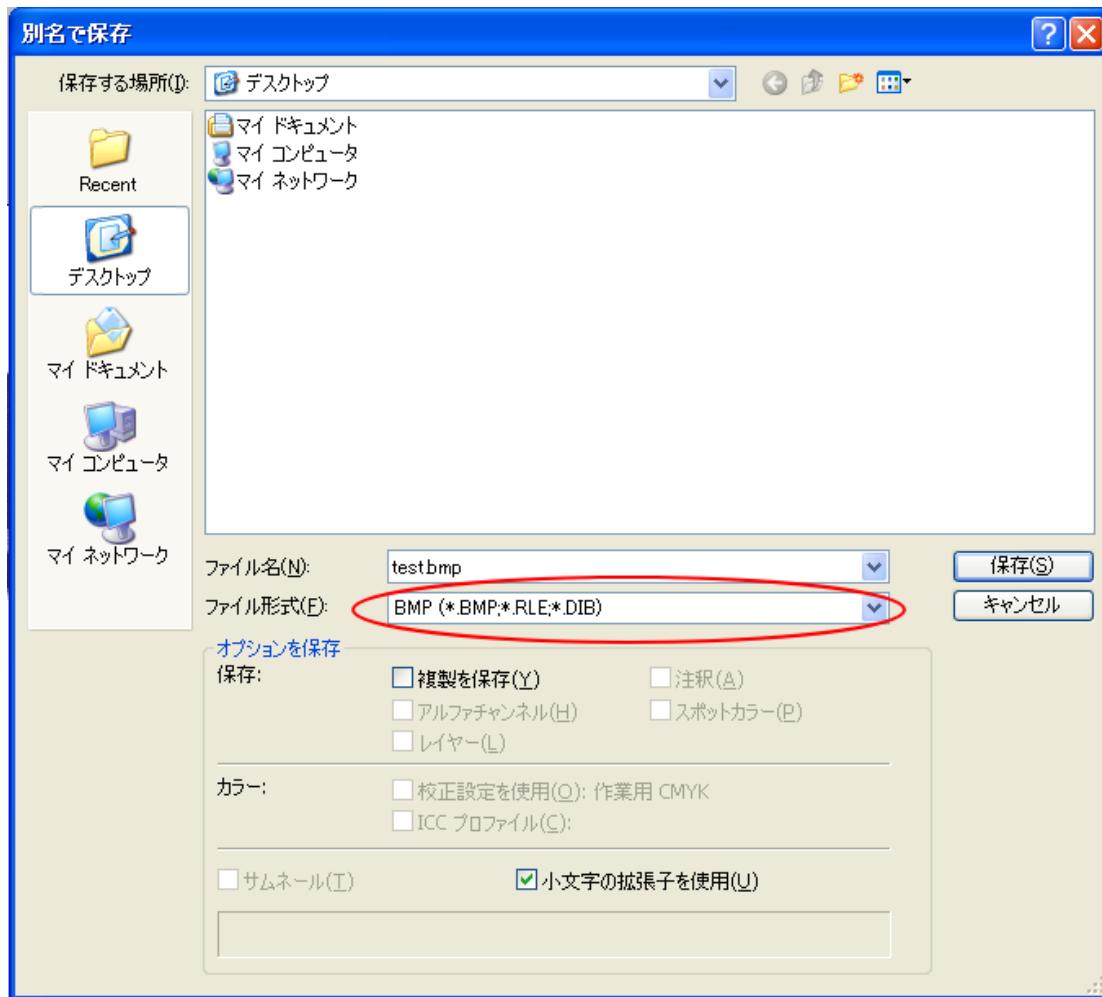
⑦ 下図のような画像に変換されます。



⑧ 作成したデータを保存します。



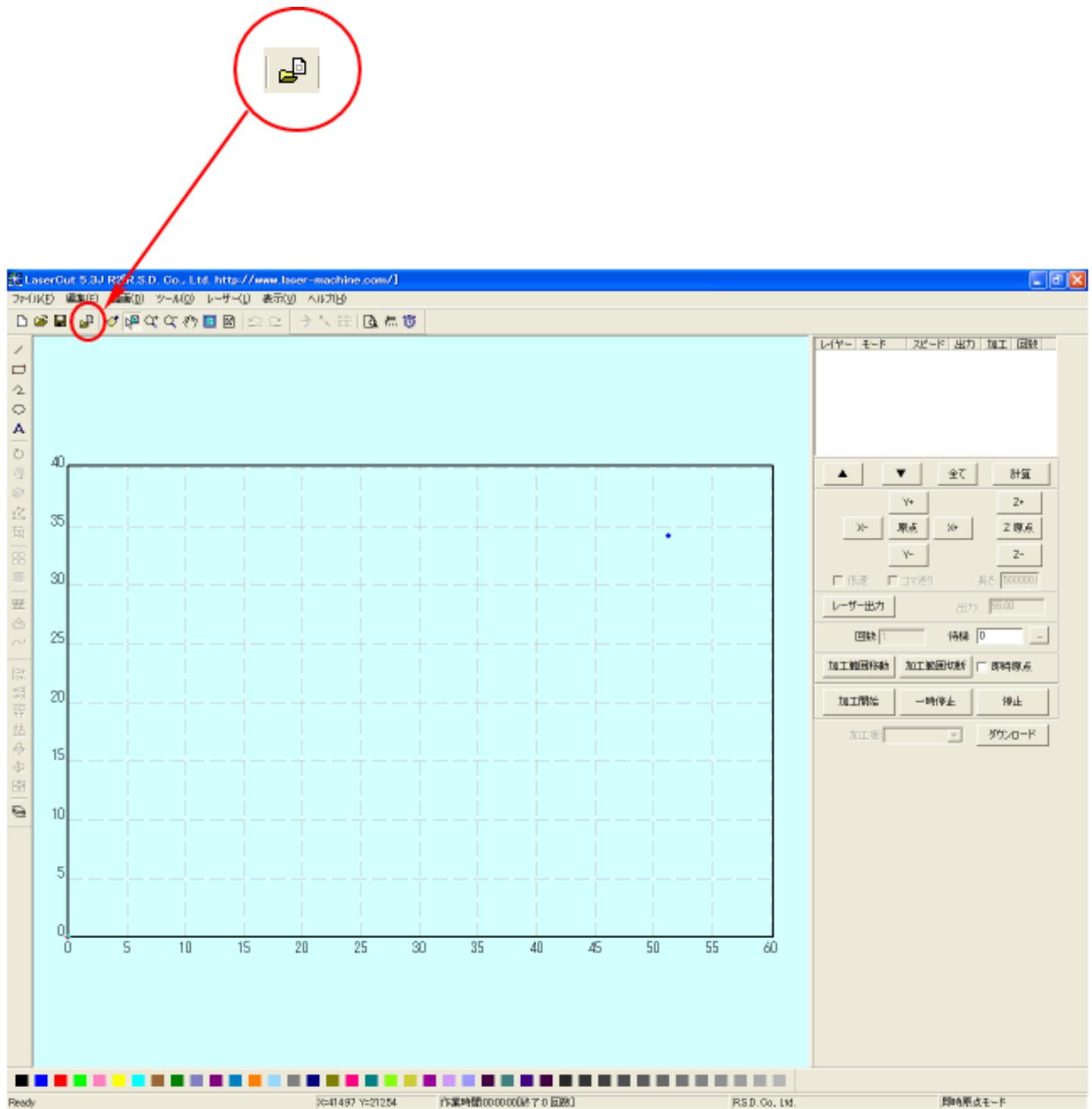
⑨ 保存ダイアログが表示されるので、ファイル形式に **BMP (*.BMP;*.REL;*.DIB)** を選択してください。



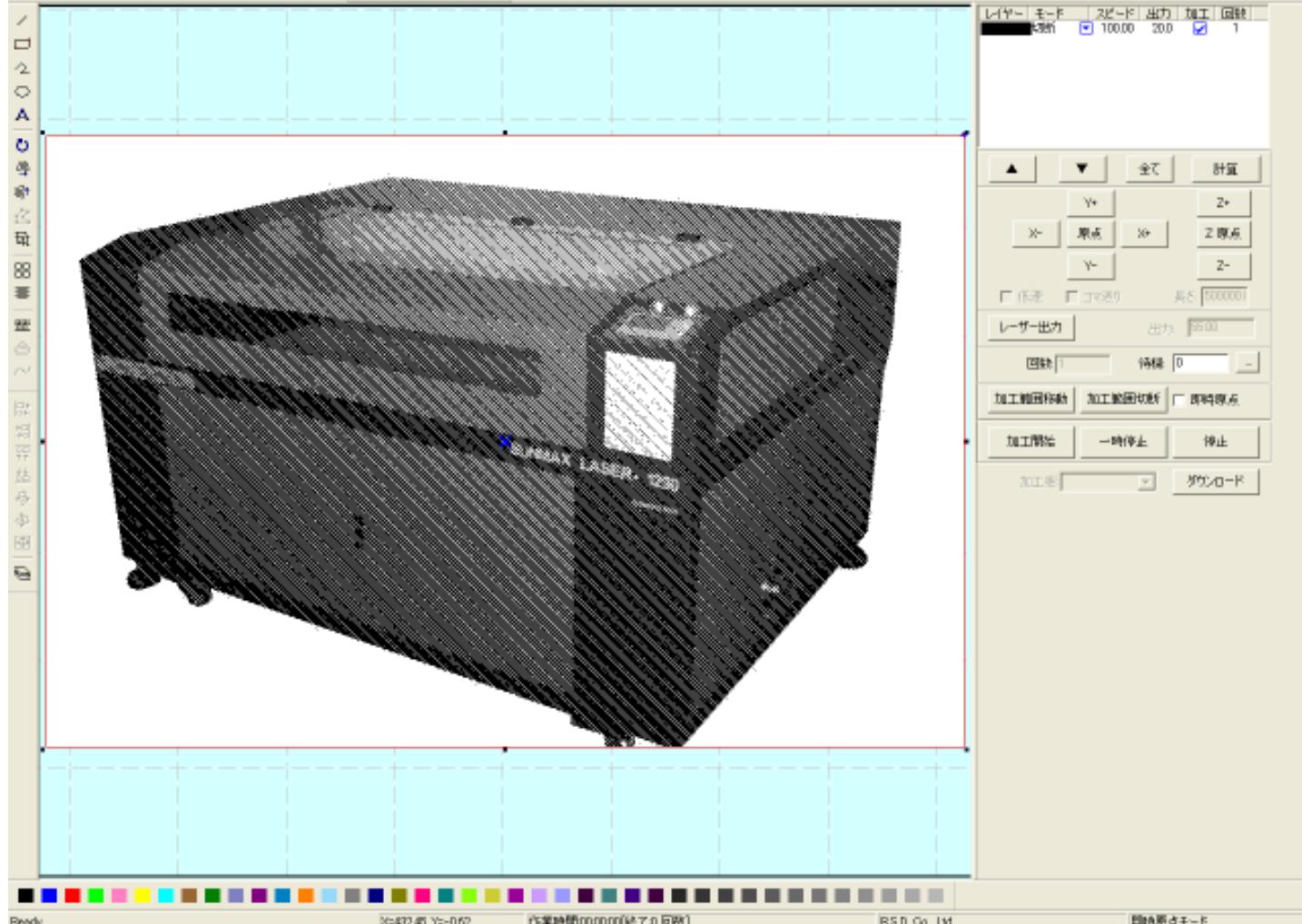
BMP オプションダイアログは、ファイル形式 Windows 標準、色数 1bit 固定です。



⑩ LaserCut を起動して、標準ツールバーの「インポート」をクリックします。

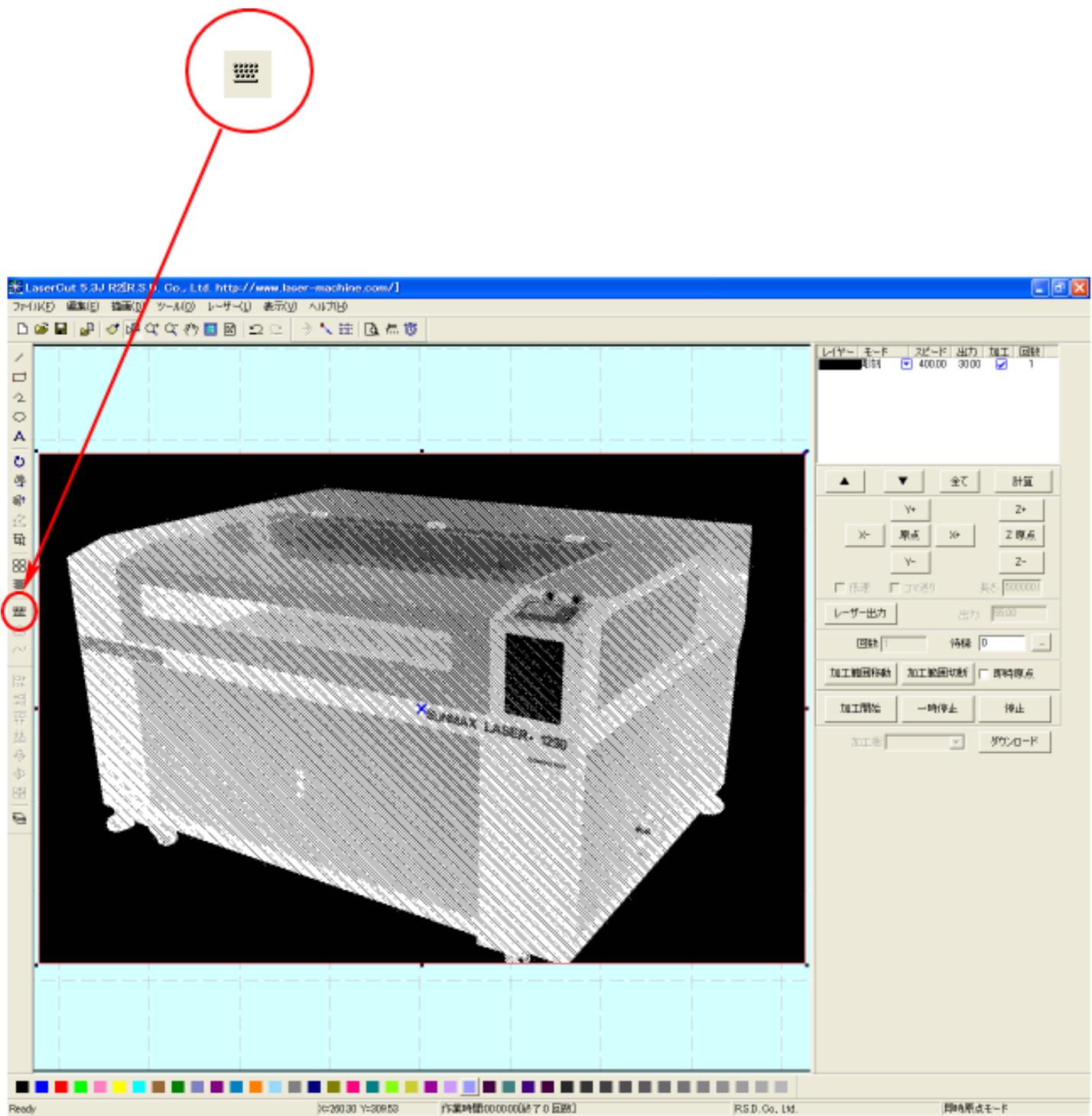


ファイルを開くダイアログが表示されるので、Photoshop で作成したデータ画像 (*.BMP) を開きます。

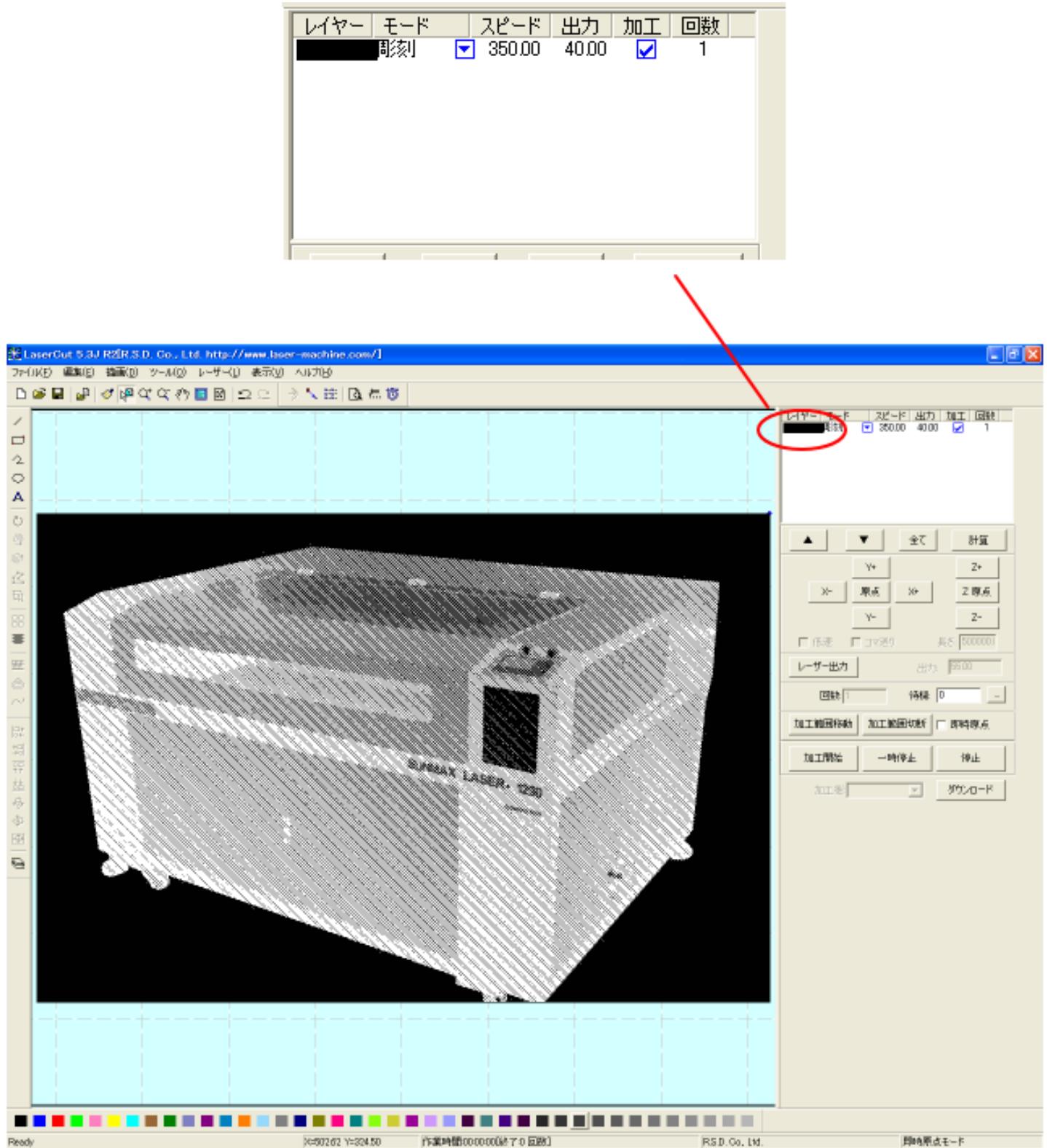


⑪ 編集ツールバーの左右反転ボタンをクリックします。

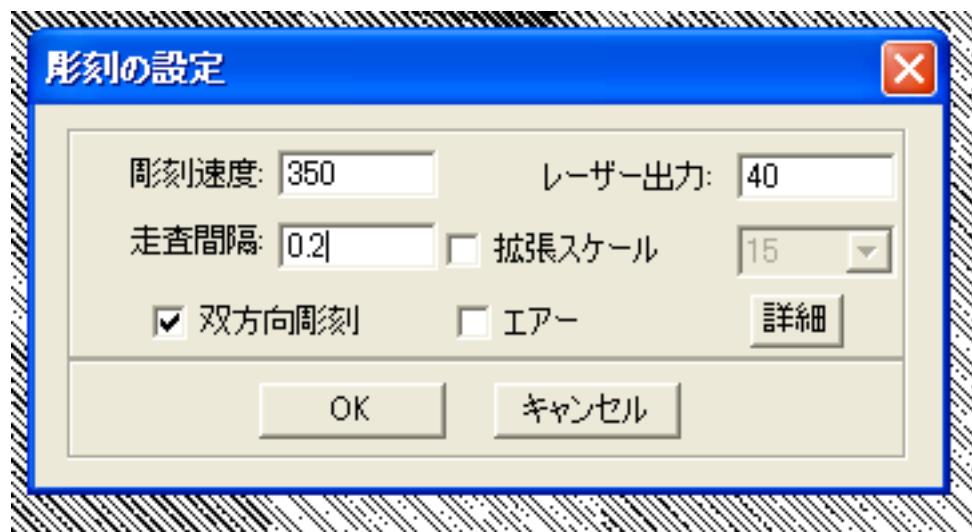
レーザー加工機は黒色の部分を彫ります。



⑫ モードを「彫刻」に設定し、レイヤー列のカラー帯をマウスでダブルクリックします。



⑬ 彫刻の設定ダイアログが表示されるので、設定して下さい。



上記設定例は、石に加工する場合の設定例です。

彫刻の設定については、素材、データ、要求加工品質、レーザー加工機機種によって異なりますので、試行して、設定を出して下さい。

設定後、ダウンロードを行えば、加工ができます。